

1 > さびん かいひ  
危険を回避!

図書館版

あの時こうしていれば……

あぶ

# 本当に危ない スマホの話

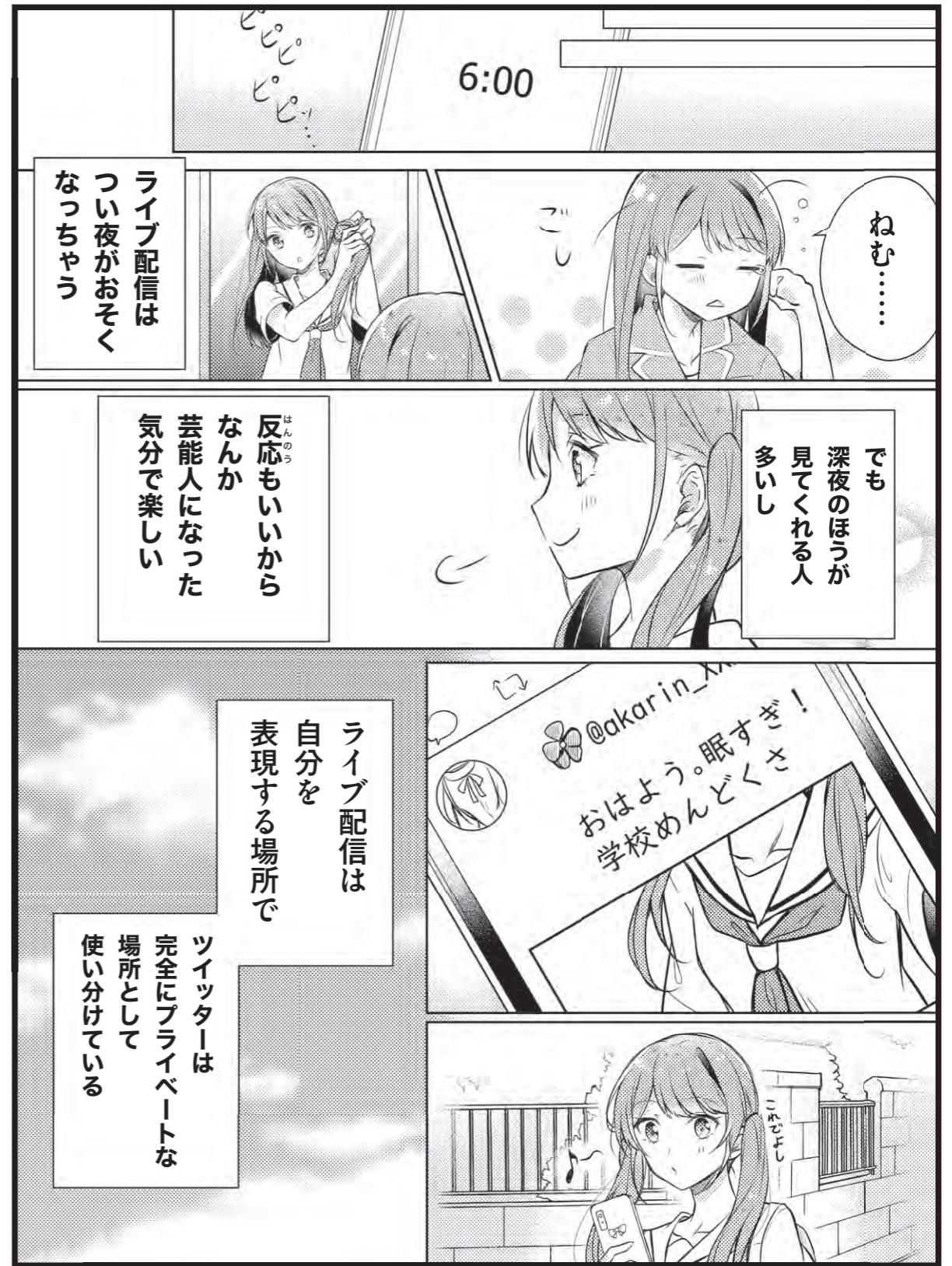
監修 遠藤美季

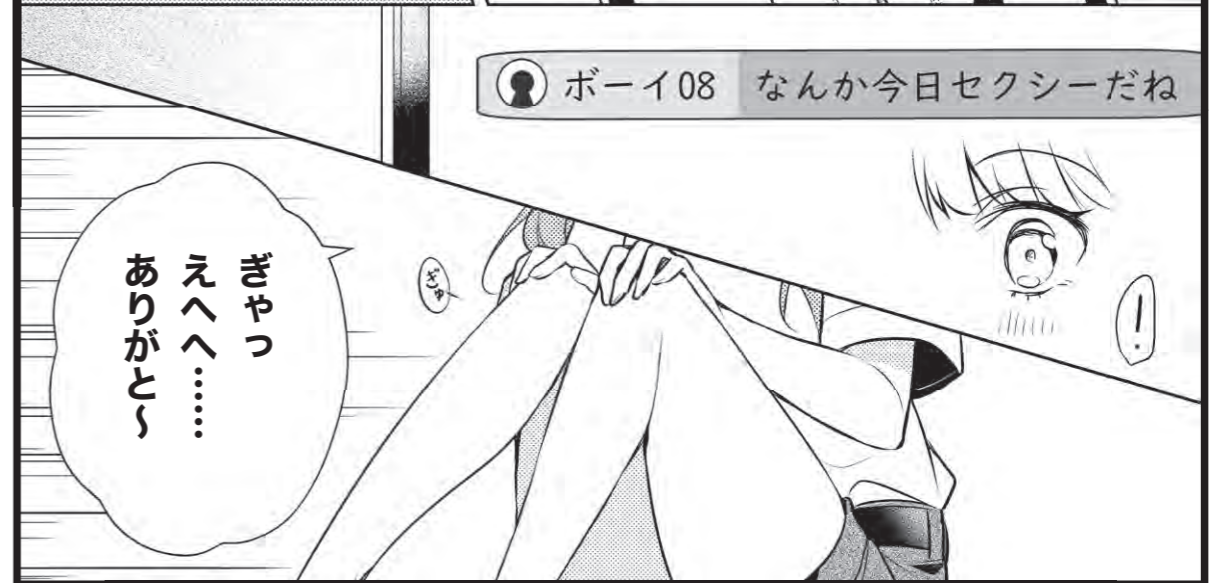
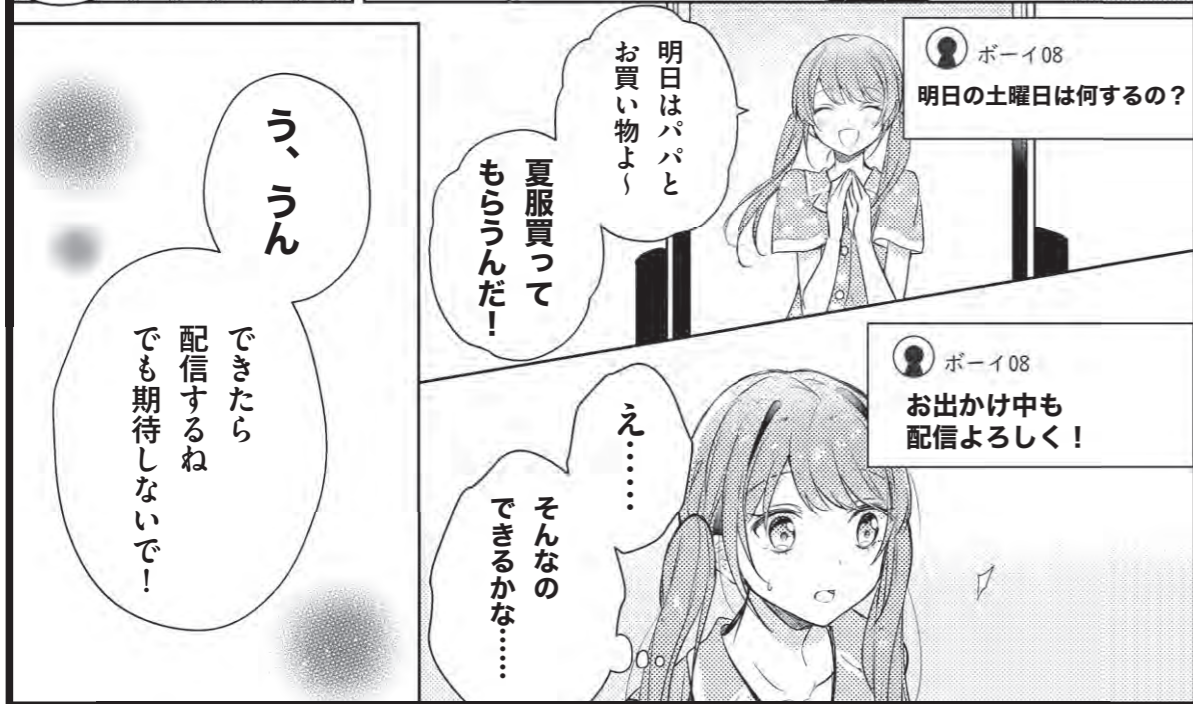
2 > マンガで学べる!

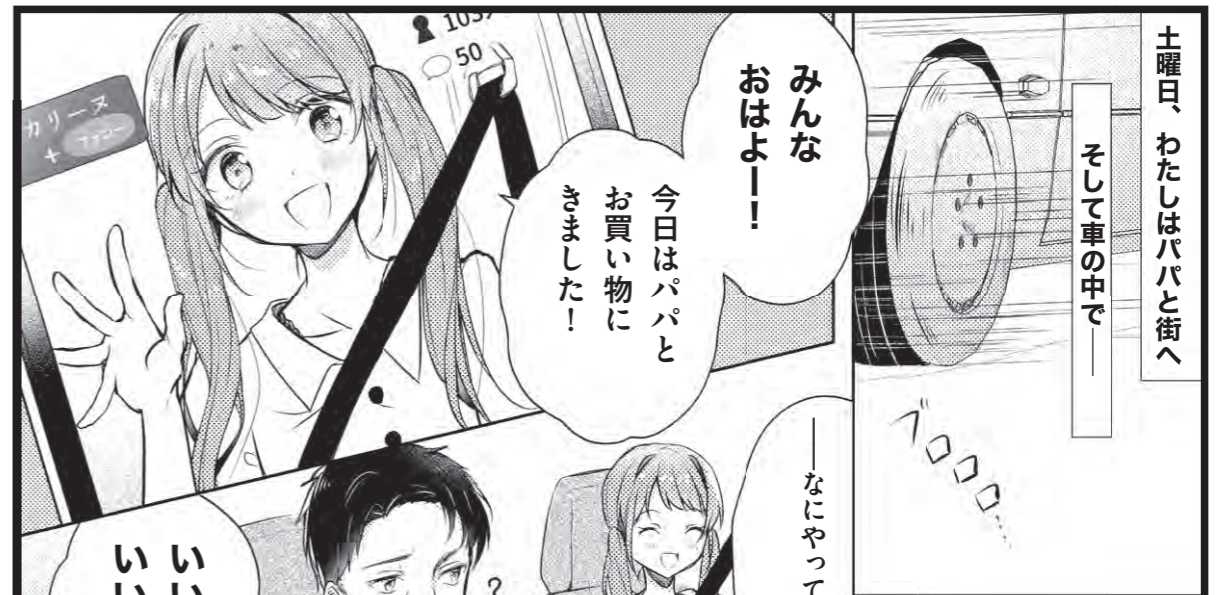
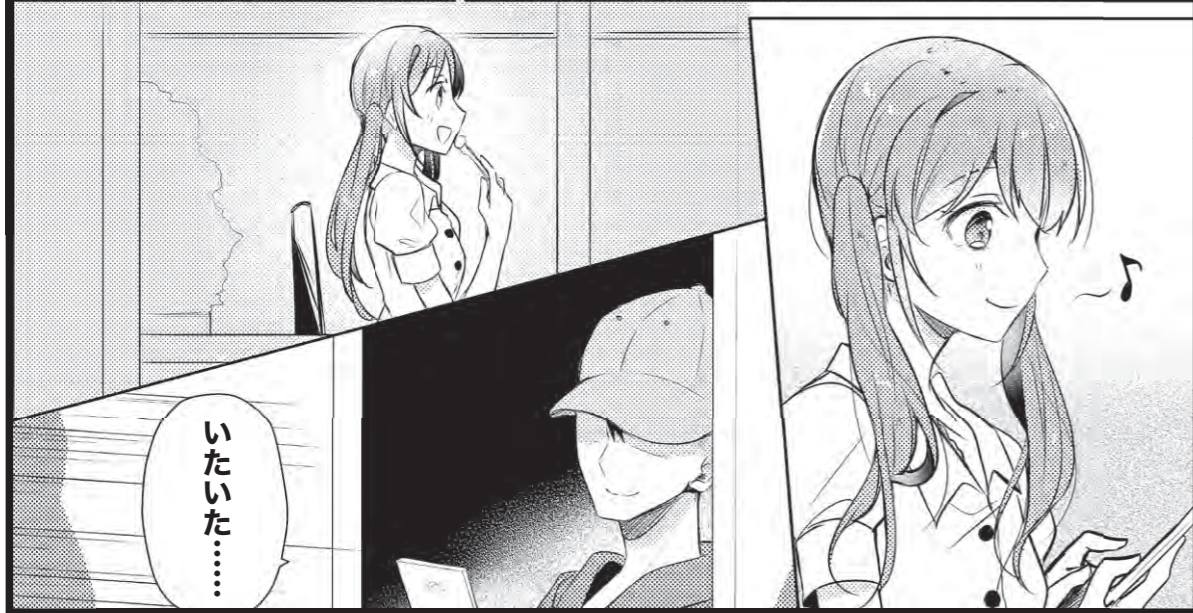
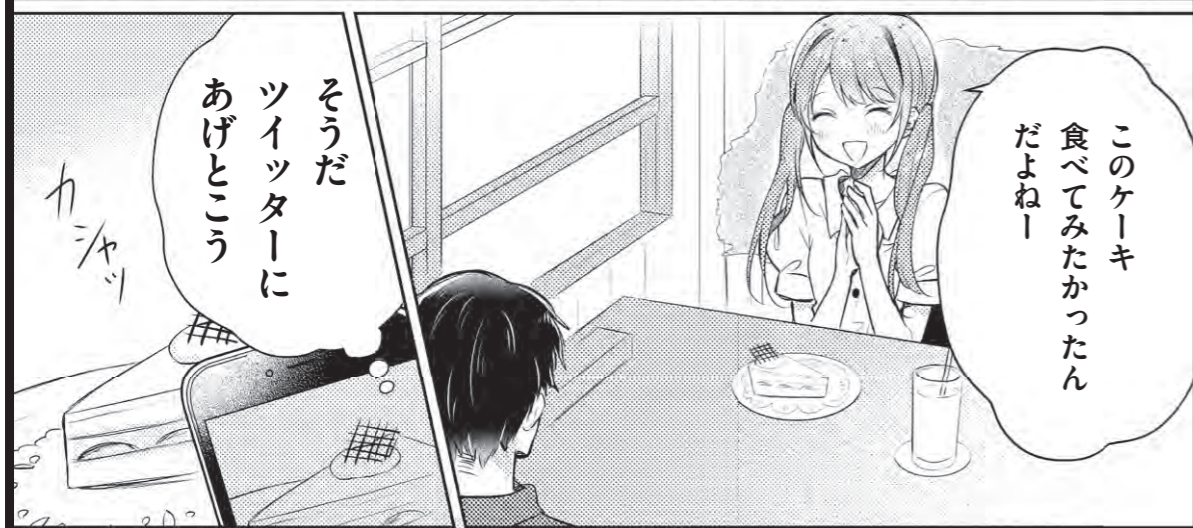
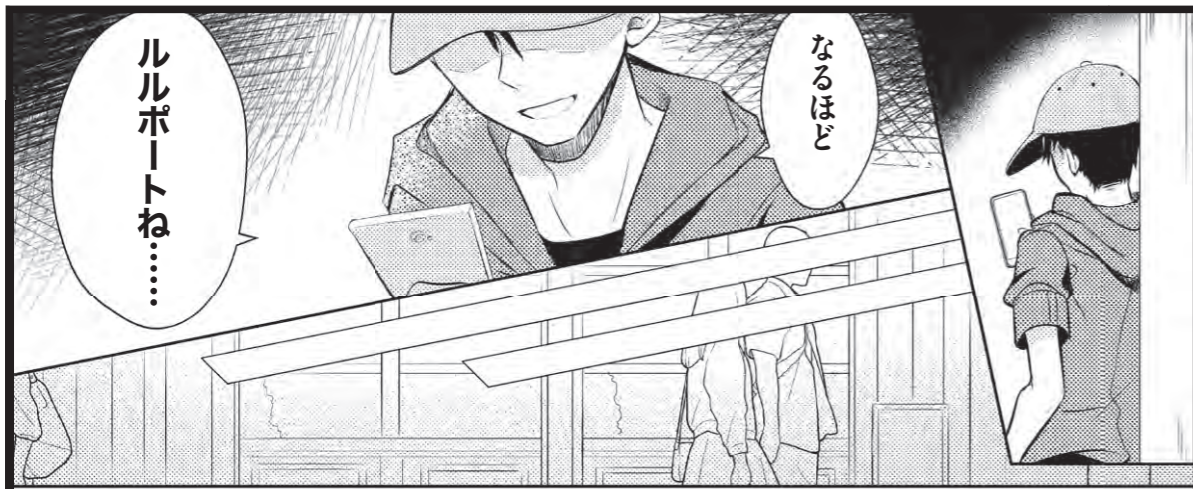
リョウ くんのこと  
嫌ってる

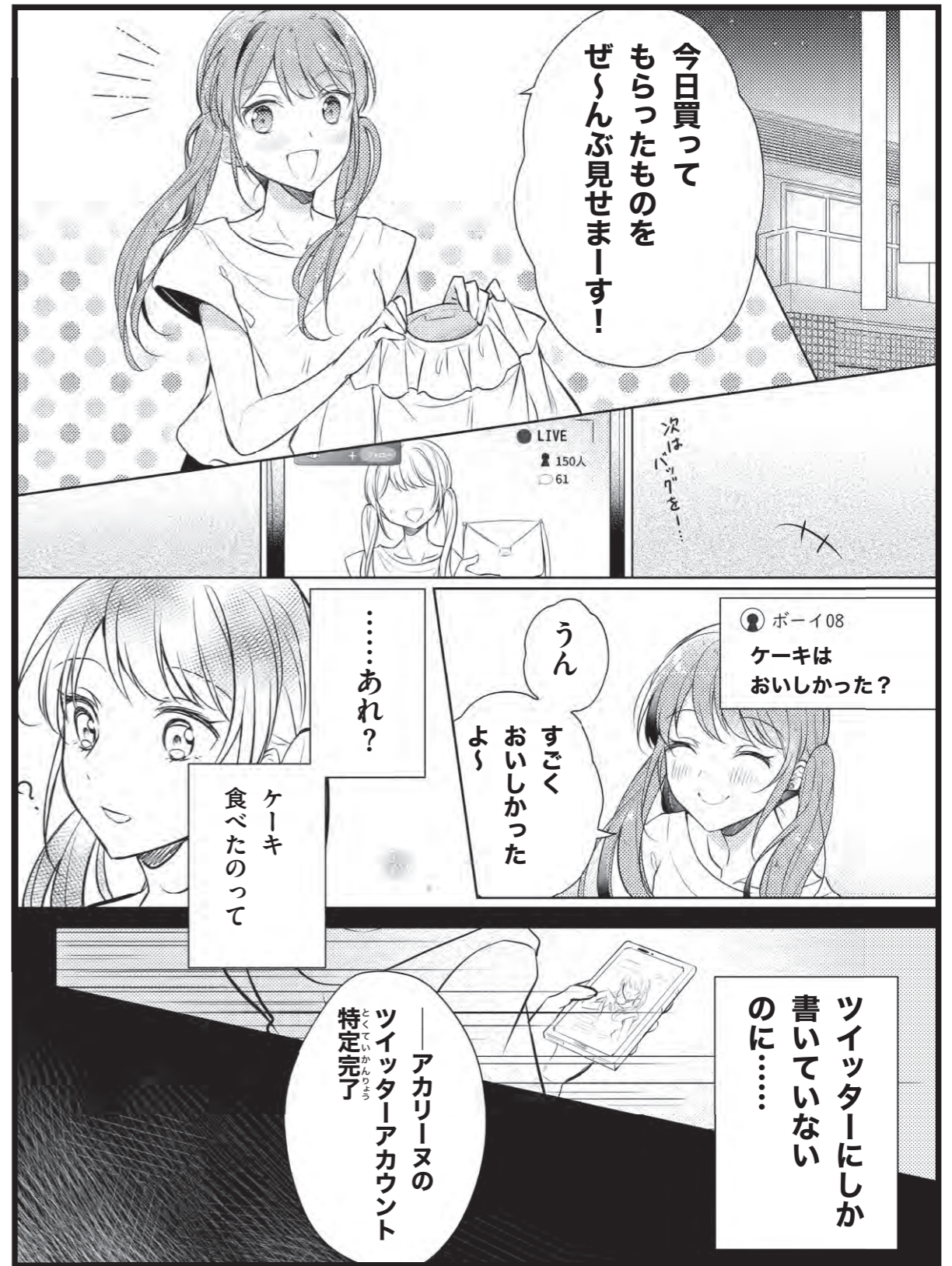






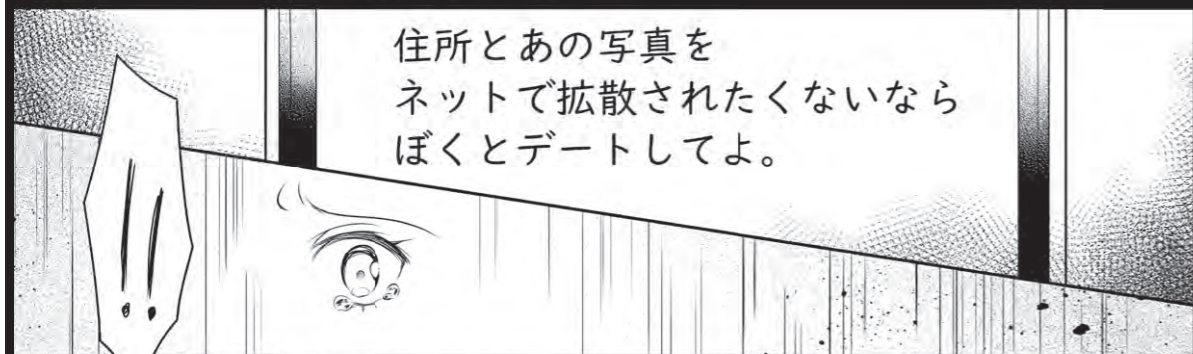




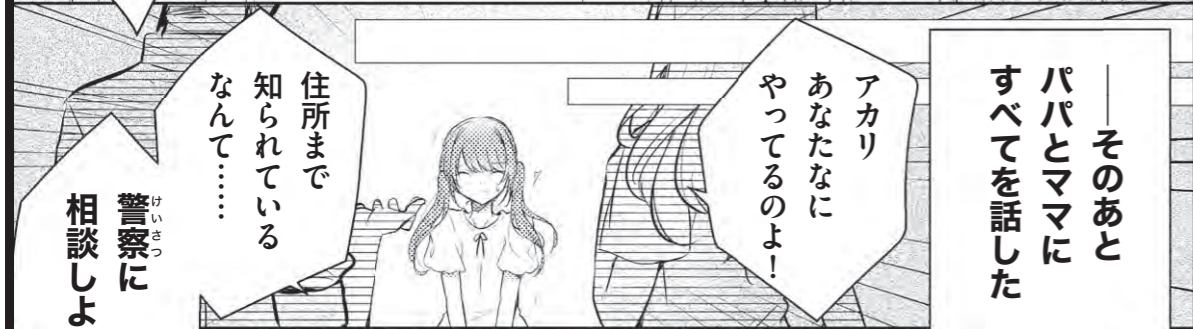




スズキ アカリちゃん。  
東京都●●区●●3-3-3  
住所も知ってるよ。



住所とあの写真を  
ネットで拡散されたくないなら  
ぼくとデートしてよ。



— そのあと  
パパとママに  
すべてを話した

アカリ  
あなたなに  
やってるのよ!

住所まで  
知られている  
なんて……

警察に  
相談しよう



警察に通報したが  
まだ犯人は  
特定できていない

着がえのシーンは少ししか  
配信していなかったのが  
不幸中の幸いだったが  
ストーカー行為をされて  
いることで

ママは仕事を休職して  
学校や塾の送り迎えを  
しなければならぬことに  
もちろんライブ配信は  
やめた



おはよう  
席についてー

スマホ  
しまいなさい!

はい



男子はひとまず  
さわぐのを  
やめてくれたけど

あの写真……  
どうやったら  
消せるんだろう……



……ただいま

これって……  
ライブのスクショを  
のせた人と

朝のコメントは  
同じ人ってこと!?

なに  
このDM!!

@boyXXX  
返信先: @akarin\_XX  
写真見てくれた?



## 配信する内容をよく考えていない



### 📺 不用意な配信が 犯罪や事件につながる

SNSや投稿した動画の閲覧者の中には、悪意を持って個人情報を探求してくる人がいる。その人たちの手にかかる、過去の投稿やフォロワーの情報もすべてチェックされ、ささいなことから個人情報もれてしまう。気をつけているつもりでも、フォロワーのプロフィールから学校を特定されることもあるのだ。個人情報を特定しようとする人の目的はさまざま。振り込め詐欺などに使うケースや、家や学校を特定して待ちぶせし、誘拐や性犯罪などを引き起こすケースもある。ライブ配信は、表情や声などがそのまま伝わり、見る人に好意的に話しているような錯覚をあたえる場合がある。そのため、過剰に親近感を覚え、相手が未成年でも会おうとしたり、ストーリー行為をしたり、勘がいかからまちがった行動をとってしまう大人もいるのだ。

## 〔個人情報流出〕

### ターニングポイント



個人情報が映らない場所に  
限定し、内容に気をつけて  
ライブ配信を楽しむ

ライブ配信で居場所を公開し  
個人情報がもれて  
住所まで特定されてしまった







# トラブルをさけるカギ



## 修正ができないライブ配信の怖さ

リアルタイムで全世界に向けて映像と声が届けられるライブ配信。写真や文字の投稿とちがうのは、配信前に内容を確認できないことだ。自分の居場所をうっかり話してしまったら即アウトだ。映っていた時間は一瞬でも、配信を録画されたり、スクリーンショットを撮られたりしていたら、その動画や画像が拡散される危険がある。また、居場所をつきとめられて犯罪に巻きこまれる可能性も。ライブ配信は、ほかのSNSよりも危機管理意識を高く持つ必要がある。不安がある人や、スマホを持ったばかりの人は、ライブ配信をしないほうがいいだろう。



## 位置情報やタグづけに注意

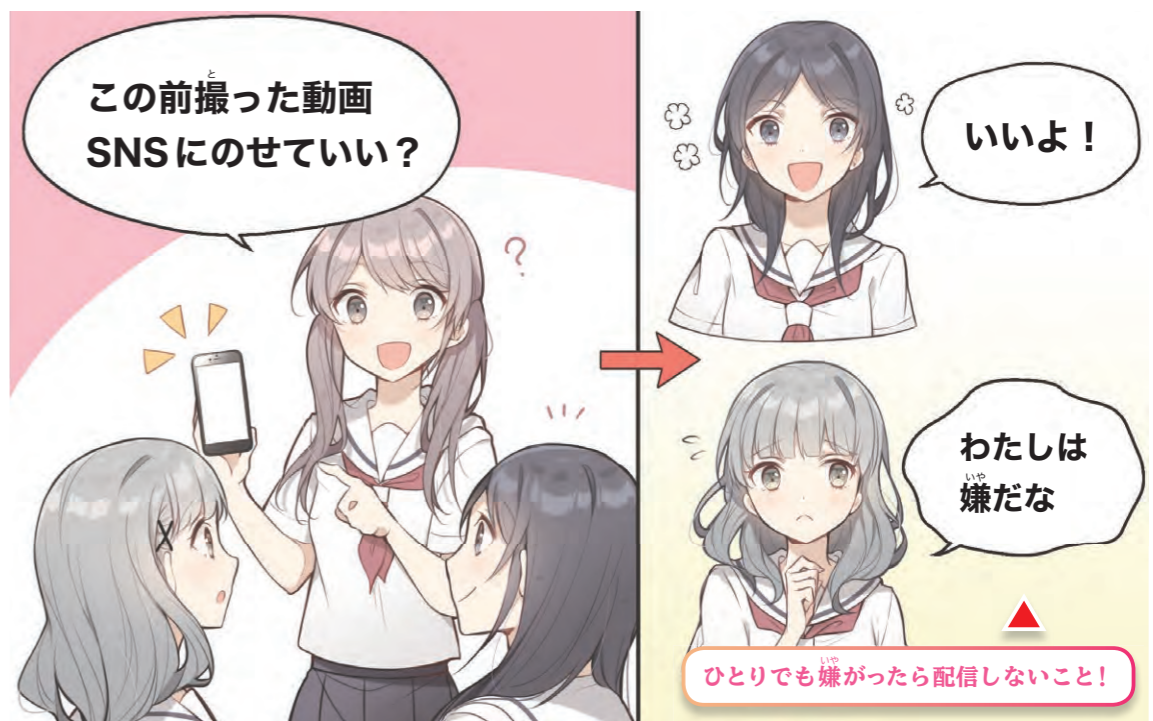
スマホで撮影した写真には、撮影場所の位置情報を記録することができる。自動で位置情報が追加される機能を廃止しているSNSもあるが、いつも行く店の写真などに位置情報をつけて投稿していると、行動範囲を特定されてしまう。また、投稿によって位置情報をつけたりつけなかったりしていると、うっかり自宅の位置情報を公開してしまうことがあるかもしれない。さらに、だれと一緒にいるかがわかる「タグづけ」の機能も、顔写真の流出など、思わぬトラブルのもとになる。位置情報の追加もタグづけも、必要なとき以外は行わないようにしよう。

### ライブ配信の注意点

- 1 映りこみに注意**  
場所を特定されないようにするだけでなく、ほかの人が映らないように注意。
- 2 自分の体を映さない**  
下着姿や露出の多い服での配信は、悪意ある人に目をつけられやすいのでやめる。
- 3 傷つけられることがある**  
好意的なコメントだけでなく、容姿や話し方について誹謗中傷を受ける可能性も。



## 画像や動画の配信はリスクをさけて



**自分も他人も街も 発信前に入念チェック**

電信柱に書かれた所在地や目印になる建物から住所を特定したり、制服の写真から学校を特定したりするのはよくある手口だ。ほかには部屋に置いてあった郵便物の住所を拡大して解読したり、顔写真の瞳に映る建物を特定したりするケースもある。さらに、親が、制服を着た娘の記念写真をSNSに投稿したところ、娘の顔と学校が知られて不審者に知られた事件も実際に起きている。

画像や映像の配信には細心の注意を払い、自分以外の人が写っている場合は、必ず本人の許可をとらなければならない。友だちや家族にも「自分の写真は勝手に使わないで」と伝えておこう。

また、ライブ配信をする際は、目的を明確にし、時間帯や場所、洋服、配信内容に細心の注意を払い、保護者の監督のもとで行うようにしよう。